

要 望 書

南九州地域の拠点港湾「八代港」の 整備促進について ～地域経済の活性化のために～



令和7年4月24日
くまモンポート八代に初寄港した
ダイヤモンド・プリンセス



令和7年9月6日
くまモンポート八代に初寄港した
三井オーシャンフジ



令和7年9月16日
台湾の新竹市で開催した
八代港セミナー in 台湾



八代港と台湾を結ぶ国際コンテナ船
ITX - HIGO

令和7年11月
熊本県八代市
八代港整備・活用促進期成会

八代港の整備につきましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

港湾は、我が国の経済や国民生活を支える極めて重要な社会基盤であり、豊かで活力ある地域経済の発展には地方港湾の成長が欠かせません。

現在の八代港は、韓国と台湾への国際コンテナ定期航路や神戸への国際フィーダー航路を有し、アジアをはじめとした世界各国へ接続する南九州の貿易拠点として着実な発展を遂げています。

八代港を取り巻く状況として、物流の面においては、近年の海外における木材需要の高まりに伴い、原木取扱量は毎年過去最高を更新するなど、全国有数の木材輸出港として成長を続けています。

また、JASM熊本工場の本格稼働に伴い、半導体の製造に不可欠な高圧ガスや化学品などの半導体関連貨物の取扱量が大幅に増加しており、半導体産業の更なる集積を目指す本県にとって、重要な拠点港となっています。

さらに、本市では、今後も見込まれる半導体関連貨物の獲得に向け、友好交流都市でありTSMCが本社を置く台湾の新竹市において「八代港セミナー in 台湾」を本年9月に開催しました。

これにより、台湾における八代港の知名度向上だけでなく、県と一体となって進めている県営工業団地など企業誘致に係る取組みを広く周知する機会となったことから、将来的な台湾企業の進出が本市のみならず県全体にも及ぶ大きな経済効果に繋がることを期待しているところです。

人流の面においては、今年多くの国際クルーズ船がくまモンポート八代に寄港しており、地元の経済団体やボランティアの皆様と県市が連携し、地域一丸となった受け入れに取り組んでいるところです。

今後も国内外の観光客の満足度向上に努めるとともに、くまモンポート八代を地域振興の核として、県南地域の魅力を発信していくかなければならないと考えています。

こうした中、加賀島地区には港湾計画において水深12m岸壁が位置づけられており、製材輸出の声も上がるなか、点在する原木ヤードの集約により港湾労働者の人手不足解消に向け水深12m岸壁の整備が期待されています。つきましては、将来見込まれる新たな貨物需要と企業立地需要への対応を図るためにも、新規事業化に向けてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、海上物流の要となる八代港は、未だ大型船舶入港時の喫水調整を要するなど余分な輸送コストが発生していることから、八代港の利便性を向上させ、今後更なる利用拡大に繋げるためにも、水深14m航路の早期完成にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一、加賀島地区への水深12m岸壁の新規事業化を図ること。
- 一、水深14m航路の早期完成を図ること。

令和7年11月

八代市長 小野泰輔

八代港整備・活用促進期成会長 松木喜一